

新発田市 令和3年度 第1回定例記者会見

1 日 時 令和3年4月5日(月)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

【市長発表項目】

- アーチェリー女子中村美樹選手 東京 2020 オリンピック出場決定
- 「早寝早起き朝ごはん」運動 文部科学大臣表彰の受賞
- 中古住宅リフォーム支援事業を新設
- 洪沢栄一からお金大切さを学ぶことをテーマにした絵本の寄贈
- 「新発田牛」の地域ブランド認証決定
- 今・得キャンペーン 2021 及びスタディ・ツーリズムの支援

【その他】

- 「はつらつ仕事館」リニューアル
- 全小学校教職員を対象とした防災キャンプ研修会
- 落谷虹児記念館「みんなのリサとガスパール展」
- 県指定文化財「新発田藩資料」を歴史図書館で公開

あいさつ

○いよいよ新年度が始まりました。今年度も皆さんから一つでも多く記事にさせていただき、新発田市を紹介していただきたい。

○昨日のニュースで池江選手の大変な快挙が報道されました。久しぶりに自分のことのように嬉しく感じました。彼女は白血病ということで、少なくとも東京オリンピックは諦めていたのかもしれませんが、諦めることなく一生懸命努力した結果、100 M バタフライの優勝ということに繋がりました。その喜びはテレビの中から十分、窺い知ることができました。

○この「諦める」というのは、仏教用語で明らかに窮めるということですから、達観す

る、あるいは悟りを開く、そういう時に「諦める」ということです。彼女は白血病で、アスリートとしてはどん底を味わったかもしれませんが、そのようなとき、普通、人間というのは諦めるものです。諦め、達観し、そこからまた自分の生き方を導き出すというというのが普通ですが、彼女はそうではなく、達観できないということでまた一つ一つ登り始め、あの成果が出た。彼女から教えられる、パワーをもらえる、そんな気持ちで大変嬉しくニュースを見ました。

○コロナは私達から多くのものを奪いました。しかし、新発田市に素材の素晴らしさを再発見させてくれました。その中に新発田牛もあり、越後姫もあります。新発田牛はずっと何とかしたかったのですが、出荷頭数 200 頭という絶対的なハードルがどうしてもクリアできませんでした。コロナ禍ということで、もう一度ここに陽を当てました。また、農家の皆さんのご協力もいただき、ようやく県のブランド認証を受けました。

○新発田市は越後姫発祥の地です。これを作った県の試験場の職員は新発田市出身です。これを栽培したのが紫雲寺の農家の方であり、新発田が発祥の地なのですが、新潟市がブランドのメインになっています。新潟市は合併により農家数が増え、出荷量が多くなり市場への影響が大きいからです。もう一度、越後姫にスポットを当ててはどうだろうかと思います。

○コロナは厄介な問題ですが、一方では学んだものもあります。これを頭に入れてコロナ対策をやり、かつ、経済対策もしっかりやっていきたい思います。皆さんからもアドバイスをいただければありがたいと思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、「中村美樹選手の東京 2020 オリンピック出場決定」について

○市内に本社がある株式会社ハードオフコーポレーションに所属する、アーチェリー女子・なかむら み き中村美樹選手のオリンピック出場が決定しました。当市にゆかりのある方で、出場を決めた第 1 号の選手となります。

○中村選手はお隣の山形県の出身で、日本体育大学を卒業後、ハードオフコー

ポレーションに入社し、業務の傍ら、同社のアーチェリー部で活動してこられたと聞いています。

○中村さんを含むアーチェリー部の皆さんには、これまでも、ヨリネスしばた札の辻広場で開催した「アーチェリー体験会」で、市民の皆さんとの交流の機会をいただけてきました。

○また、同社には民間企業研修として市職員を派遣し、職員が研鑽を積む際にもご協力いただいております、市との関係も大変結び付きが強い企業です。

○ハードオフコーポレーションは、不用品の買い取りを中心に国内外に約 900 店舗を展開し、新発田市から日本式の「もったいない精神」を広く海外にまで発信しています。そして、この度は中村さんの活躍により、新発田の名をオリンピックという世界の舞台で発信してくれるわけです。

○スポーツでまちづくりを進める本市としても、新発田にご縁がある方が、世紀の大会に出場を決められたという、明るい話題に接し、大変うれしく思っています。

○早速、市全体で応援する気持ちを伝えようと、ヨリネスしばたに懸垂幕を掲げましたし、今後、中村選手を激励する場を設けたいと考えています。その際は、報道各社の皆さんにお知らせしますので、ぜひご取材ください。

次に、「早寝早起き朝ごはん」運動 文部科学大臣表彰の受賞について

○まちづくりの視点に「健康長寿」を据えている本市にとって、大変喜ばしい情報が届きました。

○「めざせ 100 彩健康づくり推進実行委員会」が中心となり行ってきた「100 彩マンと楽しく食育教室」が、子ども達の規則正しい生活習慣作りの特色ある取組であるとして、文部科学大臣表彰を受賞しました。

○同実行委員会は平成 15 年に発足し、市民の健康づくりに向けて様々な活動を進める中で、平成 22 年度からは、今回受賞した子ども達を対象とした食育教室を展開してきました。

○実行委員会は、メンバーの大半が市民有志で構成し、発足して 18 年、そして食育教室を始めてからは 11 年と、市民参画での取り組みと、地道で息の長い活動を続けてきたことが評価されたと聞いています。

○当市では、健康長寿アクティブプランに基づき、全世代に渡る働きかけを行い、①平均寿命を県内トップ、②健康寿命をさらに伸ばすことで、健康であることが実感できる市民を増やす「健康長寿」の取組を進めています。

○「健康長寿のまちづくり」を進める鍵は、市民一人一人はもとより、地域や学校、企業、関係機関などの連携、つまり「オールしばた」であります。今回の受賞が、同実行委員会の活動に拍車をかけ、このまちづくり原動力となるよう期待しています。

次に、「中古住宅リフォーム支援事業」について

○新たな住宅支援の取組を紹介します。当市では、これまでも現在住んでいる住宅のリフォーム費用補助を行ってきましたが、これに加えて、中古住宅を購入した方を対象に、上限はありますが、リフォーム費用の 50%を補助する制度を創設しました。

○これは、住宅を取得される方への支援としての側面はもちろんですが、増え続ける中古住宅の利活用を促進することも目的として設けた制度です。市としては、この制度により、空き家問題などが解消され、定住に結び付けばと考えています。

○申請受付は 4 月 15(木)からで、購入後 6 か月以内の物件である、また、市の空き家バンク登録物件だと補助額が有利であるなど、内容も詳細でありますので、希望される場合は、建築課にお気軽にご相談をいただきたいと思います。記者の皆さんも、制度周知等にご協力をお願いいたします。

次に、「渋沢栄一に関わる絵本の寄贈」について

- 2024 年に発行される新一万円札の顔として話題を集めている渋沢栄一。生涯に 500 もの企業の育成に関わり、当市出身の実業家である大倉喜八郎と深い交友を結んだことでも知られています。
- このたび、その渋沢翁から、お金の大切さについて学ぶことをテーマにした絵本が市内の小学校に寄贈されます。寄贈くださるのは新発田商工会議所青年部で、4 月 8 日(木)に贈呈式を行います。
- 寄贈者からは、絵本を通じて新発田の子ども達にお金の大切さとともに、生活を支えてくれる家族に感謝すること。そして、「ありがとう」の言葉一つ一つが、お金に変わっていくということを、渋沢栄一という人物を通じて知ってもらいたいとのお話をいただいています。
- NHK 大河ドラマの主人公として話題となり、紙幣の肖像となるような著名人が、実は新発田が生んだ大倉喜八郎という人物と強いつながりを持っていたことを知ってもらい良いきっかけとなればと思っています。
- そのことで、子どもたちに、移築工事中である蔵春閣に興味を持ってもらうことができるでしょうし、新発田の新たな宝が増えることの喜びを感じてもらいたいと考えています。

次に、「『新発田牛』の地域ブランド認証が決定した話題」について

- 令和 3 年度からの地域ブランドの承認を目指し、関係機関と調整を行ってきた新発田産和牛について、このたび申請者である JA 北越後に対し、にいがた和牛推進協議会から通知があり、正式に認証が決定しました。
- 正式名称は、「にいがた和牛 新発田^{うし}牛」であり、「にいがた和牛」の地域ブランドは、村上牛に次ぐ 2 例目となります。
- コロナ禍で肉用牛の消費が減退したことを受け、黒毛和種の飼養頭数県下第 1 位を誇る当市において、新たな新発田の宝として PR するため、昨年度は、市内

飲食店で新発田産和牛を提供するキャンペーンを展開し、消費拡大を図るとともに、生産から流通・消費までの仕組みづくりを行ってきました。

- このたびの地域ブランド認証を受け、4月から6月にかけて「新発田牛^{うし}」を名乗り、消費拡大キャンペーンを実施するとともに、例年5月に開催しているアスパラキャンペーンとのコラボレーションを行うなど、「新発田牛^{うし}」のPR活動に力を入れています。
- また、生産・販売に両側面からブランド価値の向上を目指し、新たな特産品として育て上げるための推進体制も整備しています。
- 豊かな穀倉地帯・新発田が育んだ上質な肉質を誇る「新発田牛^{うし}」の名を広め、いずれは観光客にも「新発田に行ったら新発田牛^{うし}を食べよう」と言ってもらえるような品^{しな}にしていきたいですし、そのための周知を、今日お集りの記者の皆さんにもご協力いただきたいと思っています。

次に、「今・得キャンペーン 2021 及びスタディ・ツーリズムについて

- 当市では、新型コロナウイルス感染症によって深刻な影響を受けている観光関連の事業者を支援するため実施してきた「今・得キャンペーン」を4月、5月も引き続き行います。
- 主な内容は、新潟県民を対象とした宿泊割引、県内主要駅を基点とした無料バスの運行、月岡芸妓が歓迎の気持ちを込めて舞う踊りの披露などが主なものです。
- 宿泊割引は、1組あたり最大人数を4人とし、月岡温泉旅館14施設、市内旅館・ホテル13施設で、対象プランを利用すると、1人1泊あたり3,000円または1,000円が割り引かれます。他^たキャンペーン1件までは併用可能であるので、さらにお得に宿泊することができます。
- また、今・得キャンペーンのほかに、「スタディ・ツーリズム」の支援を実施します。こちらは、修学旅行の行き先の選定に苦慮する市内を含む県内の小・中学校を対象に、修学旅行に係る経費を1校当たり最大50万円補助します。

○利用にあたっては、市内宿泊施設に宿泊してもらうことが条件となります。

○いずれにいたしましても、この二つの取組を多くの方に利用いただき、市内経済を盛り上げるとともに、ぜひともこの機会に、新発田の街の魅力を市外の方はもちろんのこと、市民にも改めて感じてもらいたいと思っています。

本日お知らせする情報は以上になります。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。